

# VMware ThinApp導入による 既存システムの活用で 改修にかかるコストを約50%削減

Vol. **3**Your Food Life is...  
**TOCHIKUKEN**

## VMware ThinApp導入事例

# Windows 7へのスマートな移行を実現するとともに 仮想化基盤の構築により、全国展開を

### 導入サマリー

折尾名物の駅弁「かしわめし」をはじめとする弁当の製造・販売、駅構内のうどん店やデパートへの出店など、1921年の創業以来、福岡エリアを中心にこだわりの「食」を届ける東筑軒様。同社ではサーバーおよびWindows XPの保守サポート終了に伴い、販売・在庫管理などの業務系システムの見直しを検討。しかし2006年以来、安定稼働を続ける業務系システムのプログラム改修は運用面およびコスト面からも最良策ではないと判断。そこで、VMware ThinAppによる“アプリケーションの仮想化”ソリューションを選択しました。これにより、Windows 7へのスムーズな移行とともに、使い慣れた従来の業務システムの継続利用を実現。コストを最小限に抑えたOSのバージョンアップにより、将来の全国向けインターネット販売も視野に入れた仮想化基盤の構築に成功しました。

株式会社 東筑軒  
会社概要

設立年月日：1942年5月25日 事業内容：弁当類、その他、飲食物の調整及び販売  
本社所在地：福岡県北九州市八幡西区 WEB サイト：<http://www.tochikuken.co.jp/>

# 既存システムを活かしながら、OSのアップグレードできる。 さらに将来性がVMware ThinApp導入の決め手でした。

## 課題

ハードウェアとOSの保守サポート終了に伴う  
業務システムの見直しを  
いかに低コストで実現させるか

東筑軒様では顧客サービスの向上と在庫圧縮を目的に2006年、販売・在庫管理をはじめとした業務システムを刷新。以前はオフコンベースの自由度の低いシステムだったため、販売、在庫、資材などといった各データの連携がとれず、手作業による集計が必要でした。そこで、NTTデータNCB様の提案により、オープン系システムへ移行。製造に必要とする資材、原材料の“見える化”を実現しました。

「いまどれだけ注文があって、どれだけ原材料を発注しないといけないか。商品単価を見据えていく上でも的確な原材料の把握は不可欠でした」（NTTデータNCB ビジネスソリューション事業本部 システム営業部 部長 井浪氏）

サーバークライアント構成の同システムは構築以来、大幅な改修もなく、東筑軒様の業務IT基盤の要として安定稼働を続けていました。ところが、2012年にサーバーの保守サポート終了、翌年のWindows XPのサポート終了を迎えるにあたり、見直しを余儀なくされました。しかし同社にとって、長年慣れ親しんだシステムの大幅な改修はコストはもちろんのこと、業務への支障も懸念されました。

## 提案

VMware ThinAppによる  
アプリケーションの仮想化により  
既存システムを継続利用が可能に

そこで、ITパートナーであるNTTデータNCB様に相談したところ、①業務アプリを改修して、さらにインターネット網を活用するか、②業務アプリを改修して、OSバージョンアップするか、③業務アプリを改修することなく、OSバージョンアップするか、の3つの提案を受けました。その中で東筑軒様が着目したのが、業務アプリを改修せずに、OSバージョンアップする方法。この移行を実現するソリューションがVMware ThinAppでした。

システム改修に比べておおよそ半分の費用に抑えられること、また同社のセキュリティポリシー、さらに行楽シーズンやお正月などの多くの繁忙期を抱える同社にとって、短期間での移行を実現する最適なソリューションといえるものでした。移行にあたり、システム企画室の木戸氏は全社員に現行の業務アプリケーションへの要望についてアンケート調査を実施。これらを機能要件に加え、NTTデータNCB様に検証を依頼した結果、問題なくVMware ThinApp上で稼働することがわかり、導入に踏み切りました。

## 効果

端末増加の際のセットアップ業務の手間が  
格段に軽減

現行アプリケーションへの機能追加、環境構築（カプセル化）、動作検証と、NTTデータNCB様の柔軟かつスピーディな対応により、着手からわずか3ヶ月でVMware ThinAppによる仮想化環境の構築を実現。その構成はVMware ThinApp上の仮想アプリケーションとして「.NET2.0」「ODP.NET」「Oracle



株式会社 東筑軒

製造部部长  
仕入部部长

西岡 広志 氏

今回の移行にあたって、我々が一番要望したのは、これまでの業務システムの使い勝手を損なわないこと。社員の誰もがストレスなく扱えることでした。もちろんコストもハードルのひとつでしたが、やはり業務アプリケーションに必要なことは、日常の

業務の中で全社員が問題なく使えること。こうした要件にVMware ThinAppは見事に応えてくれています。また、それでいて仕入れの材料単価の割り出しが自動でできるなど、細かい部分で便利な機能があらたに実装されています。社員の評判も良く、移行後に使い方についての問い合わせも一切ありません。

株式会社 東筑軒

システム企画室  
主任

木戸 武人 氏



VMwareによるサーバーの仮想化についてはある程度情報を得ていましたが、アプリケーションの仮想化についてはまったく初めてでした。NTTデータNCB様に何度も丁寧にご説明いただき、まさに理想的なソリューションであることがわかりました。以前はクライアントPCを1台増やすたびに中古のWindows XPを探しまわっていました。今では稼働するのでその必要はなく、サーバー上のカプセル化したexeファイルをドラック&ドロップして開くだけで、Windows 7上で業務アプリケーションをすぐに使うことができます。

端末のセットアップにかかる作業負荷が大幅に軽減されていますね。また、顧客情報システムの電話番号欄の追加や住所検索ボタンの設置など、社内のヒアリングによる結果をうまく既存のアプリケーションに反映させていただいたことも業務効率アップにつながっています。

導入に携わった  
パートナー様

■ NTTデータNCB様

オンサイトでの勉強会をはじめ、  
移行時の帳票ツールの  
バージョンの最適化など、  
ソフトバンクBBの確かなノウハウが  
お客様の課題解決をスムーズに導きました。



株式会社NTTデータNCB  
ビジネスソリューション事業本部  
システム営業部 担当部長(総括)

井浪 健一郎 氏

今回のVMware ThinAppの提案においては、ソフトバンクBBのサポートなしには実現しなかったと思います。VMware ThinAppの前身であるThinstallの頃からアプリケーションの仮想化については弊社も注目をしていましたが、一方で「本当にできるのか?」と半信半疑なところが正直ありました。2011年頃、ソフトバンクBBから提案を受け、弊社も本格的にソリューションの検証を始めました。

その際、ソフトバンクBBには弊社での勉強会や技術サポートを密に行っていたいただき、アプリケーションのカプセル化など、細かい技術についてのノウハウを得ることができました。

「これなら行ける!」と確証を得たところに東筑軒様から相談を受け、自信を持って今回VMware ThinAppをご提案しました。カプセル化の際、一部帳票ツールに不具合が生じましたが、すぐにソフトバンクBBの担当者にログファイルを送り、電話やメールでやり取りしながらバージョンの問題と特定することができました。こうしたソフトバンクBBの迅速かつハイレベルな解決力が、東筑軒様への付加価値の高いソリューション実現に大いに役立ちました。

Client10g」「帳票ツール」をカプセル化、さらに仮想化サーバー2台、クライアントPC25台の構成となっています。移行作業は業務終了後から生産工場が稼働する午前0時までのわずか数時間しかなかったものの、スムーズで問題なく実施されました。

今回のVMware ThinApp導入について、木戸氏は「費用を最小限に抑えられた上に、クライアントPCが増えた場合でもカプセル化したexeファイルをコピーするだけですぐに使える」とその効果を実感しています。また、以前はウイルス対策ソフトのパターンファイル更新の度にレスポンスが悪くなっていたが、サーバーの仮想化により、レスポンスも飛躍的に向上しています。

今後

全国ネット通販を視野に、  
あらたな事業戦略の情報基盤として

2013年7月の本稼働から約4ヶ月、トラブルも全くなく東筑軒様の新しい仮想化システムは安定しています。製造部部長の西岡氏は「従来の業務アプリケーションの画面と何ら変わらない操作で誰もが扱え、しかも細かいところで機能がアップして使い勝手が向上している」と高く評価します。

現在、東筑軒様では福岡エリアを中心に事業を展開していますが、レトルトや冷凍方法の技術革新により、近い将来、インターネット販売による全国展開も計画しています。そうした意味でも今回の仮想化基盤は、将来の事業展開に合わせた柔軟なシステム拡張を実現するものであり、東筑軒様のさらなる飛躍を支える鍵となるといえるのではないのでしょうか。



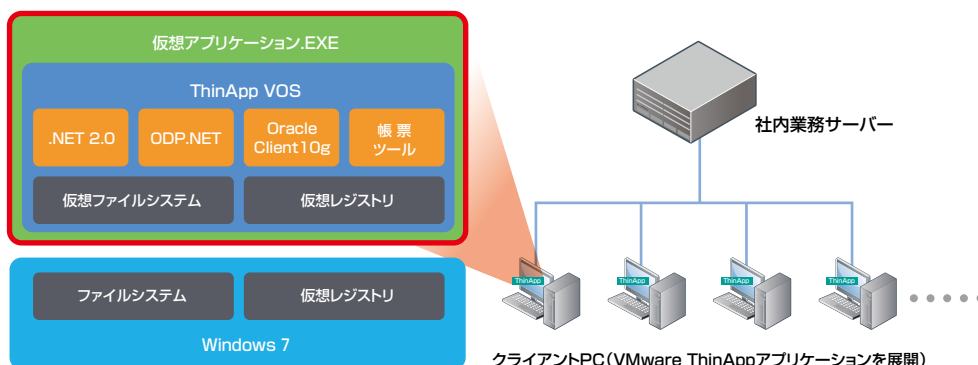
### 課題

サーバーおよび  
Windows XPの保守サポート終了

膨大なシステム改修費用

全社員がすぐに使えるリプレイス

継続的なシステムカスタマイズ



アプリケーション互換性問題を解決して、Windows 7に移行

# 仮想化分野への取り組み

ソフトバンクBBは、VMware社の認定ディストリビューターとしてさまざまな仮想化ソリューションおよび関連サービスを、多くの認定パートナー企業様を通じてお客様に提供しています。ソフトバンクグループの主力事業である通信事業や、創業以来の流通事業が連携することで、お客様の課題解決を支援し、最適なソリューションをご提案します。

## ソフトバンクBBならではの3つのポイント

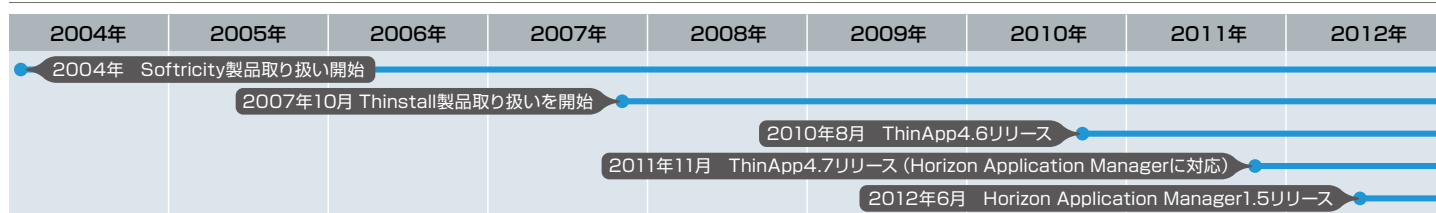
### BB 仮想化分野におけるパートナーシップ

創業以来30年にわたるICTディストリビューション事業のノウハウを活かし、協業パートナー様と連携して、お客様のさまざまなニーズに対応してまいります。

### BB スマートデバイスとの連携

当社は、ワークスタイルを変革する新しいデバイス=スマートデバイスの分野にいち早く参入しました。自社へ導入した実績をもとに、スマートデバイスとあわせて仮想デスクトップなどのEUCソリューションをワンストップでご提案します。

### BB アプリケーション仮想化の先駆け



ソフトバンクBBでは、2004年のSoftricity製品取り扱い開始を始めとして、他社に先駆けてアプリケーションの仮想化に取り組んでまいりました。

## 導入提案・各種ご相談に関して

### BB 導入提案に関するご相談

仮想化に関するご導入相談の専用窓口をご用意しています。VMware社の認定を受けた技術者や製品営業が、VMware認定パートナーと連携し、お客様に最適なソリューションをご提案します。

### BB 各種情報配信やイベントのご案内

仮想化技術に関する情報や各種イベントのご案内をさせていただきます。

### BB VMware製品のサービス利用（サービスプロバイダ様向け）

VMwareのテクノロジーをベースとした仮想マシンのホスティングなどを展開される場合、通常販売されているライセンスとは異なり、専用ライセンス (VSP) をご利用いただく必要がございます。弊社では、同ライセンスのご提案から販売まで直接サービスプロバイダ様にご提供させていただきます。

### VMwareソリューション紹介サイト

<http://cas.softbank.jp/services/vmware/>

### XPマイグレーションセンター

<http://cas.softbank.jp/services/xpm/index.html>

## vExpert Award 2013を受賞しました

VMware社が2013年5月30日に発表した「vExpert Award 2013」において、ソフトバンクBB株式会社 コマース&サービス統括に所属する社員5名が、同アワードを受賞したことをお知らせいたします。全世界で578名、日本国内で24名が受賞し、そのうち5名の受賞は一企業に所属する受賞者の数としては国内最多です。vExpert AwardはVMwareに関する啓蒙活動や支援活動に年間を通して貢献した個人を表彰するものです。ソフトバンクBB株式会社 コマース&サービス統括に所属する5名の受賞者は、VMware社を中心とした当社の仮想化ビジネスにおいて、プリセールスやポストセールスで、ユーザー様や販売パートナー様に対して、技術的な支援を行っています。それぞれの業務における支援活動や個々の啓蒙活動が評価され、今回の受賞に至りました。

今回の受賞に慢心することなく、より高度なサービスのご提供に向け、社員一同精進していく所存です。

今後ともソフトバンクBB株式会社 コマース&サービス統括にご支援賜りますよう、お願いいたします。

SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。

VMwareは、米国およびその他の国におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。Microsoft, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

【販売パートナー】

【国内一店：認定ディストリビューター】

ソフトバンク BB 株式会社  
コマース&サービス本部  
仮想化ビジネス推進部

Email : SBBMB-sbb\_vmware@g.softbank.co.jp

